

特集

みらいしんきん同友会 設立50年を前に

まもなく設立50年を迎えようとしている、みらいしんきん同友会。半世紀にわたり地域の経営者が中心となって活動してきた実績は目を見張るものがありますが、新たなステージに踏み出すための助走期間に突入したともいえます。同友会草創期に尽力してくださった樽谷壽生・みらいしんきん同友会代表幹事と、2人の次世代経営者に、みらいしんきん同友会に対する想いを聞いてきました。



独自性の高い活動を 実践できる経営者の会

1976年の発足当初から同友会活動に携わってきた樽谷壽生・みらいしんきん同友会代表幹事は、これまでの活動を次のように振り返ります。「第一次オイルショック後の経済が低迷していた時期に、この難局を乗り切る方策を探ろうと、当時の別府信用金庫と取引先経営者がひとつになって結成に至ったのが別信同友会です。発足後は「日本のロケット開発の父」と呼ばれる糸川英夫博士をはじめ著名人の講演会や優良企業見学などを通じて学びの機会を設けました。発足から2年後にゴルフコンペを企画したところ、110名もの会員が参加し、ここから地域を越えた交流も活発になりました。地元経営者と関わりが深い金融機関が軸になったからこそ、お互いの「絆」が深まったと感じています」

鉄輪支部では「まちづくり基本方針」の策定を起点に、『鉄輪愛耐会』のオリジナル焼酎販売、湯けむり俳句の募集、鉄輪のまちあるき企画など、同友会活動をキッカケに発展していった事業も多々あります。

「支部同士の交流も、新しい広がりを見せています。単独では難しいイベントでも、複数の支部が協力することで開催を可能にするのも同友会ならではです。鉄輪支部、上



別府市内支部・湯布院・日出支部と合同開催の「みら☆コン」 ジャズバンドの演奏を交えて4年ぶりに開催した観月会

企業DATA 社会福祉法人 貴船会『大観苑』 別府市鉄輪東8組 TEL.0977-67-8668 URL <http://www.daikanen.jp>

人支部、亀川支部では毎年当番を決めて合同講演会とゴルフコンペを行っています。支部でスタートした企画から拡大していく例もあり、従業員の婚活を応援する『みら☆コン』、ジャズやワインを楽しみながらの親睦イベントも定着しています。鉄輪支部もジャズバンドの生演奏を楽しみながらの観月会を昨年からはじめたところ、大変好評でした」

その一方で、経営環境の変化にどう対応するか、苦慮している会員も増えています。

「人手不足、後継者問題、働き方改革など、発足時にはなかった経営課題も増えており、悩んでいる中小企業経営者が多いのも事実です。みらいしんきんのサポートも仰ぎながら、同友会で解決の糸口を見つけ出すための知恵を出し合っていく時期だと考えます」

地域づくりに関しては女性の活躍が目ざましく、学生も含む新しい世代の動きにも「期待を寄せている」と話す樽谷代表幹事。

「設立50年を目前に控え、活動のマンネリ化が停滞を招いてしまわないよう、各支部の特徴を打ち出した新しい同友会活動が求められているのかもしれない」

設立当初の「志」と、あらためて向き合う時期が到来しています。

未来経営者スクール受講生に次世代経営者としての想いとは



次世代リーダーの育成を目的に1998年にスタートした未来経営者スクール。昨年度の受講生に、その感想を聞いてきました。

受講日	テーマ	講師
第1回 2023年 10月19日(木)	先輩経営者に学ぶ	有限会社 原田工務店 代表取締役 原田 敬史 氏
第2回 2023年 11月15日(水)	コミュニケーション	電気通信大学企画調査室 客員教授 安部 博文 氏
第3回 2024年 1月26日(金)	人材マネジメント	オフィス アンド 代表 安藤 美智子 氏
第4回 2024年 2月9日(金)	マーケティング	株式会社 ビズ・ナビ&カンパニー 代表取締役社長 早嶋 聡史 氏

方と話す機会はありませんからね」
スクールでは、講座とは別に自発的な懇親会も行われ、「同じ境遇の受講生とも腹を割って話せたことは、貴重な出会いだった」と青山氏。もちろんスクールでは「多くの学びがあった」と、その手応えを振り返ります。

「経営者として、自分の考えをしっかりと言語化して分かりやすく話すことの大切さを痛感しました。何度もスピーチをするカリキュラムがあったのですが、淡々と話すだけでは相手の心に響かず、真意が伝わらないと身に染みてわかりました」

社長からは常々、「人を大切にしない」と言われてきた青山氏は、「ここで働いてよかったと社員から思われる会社になりたい」と、決意を新たにします。社内における部署同士のコミュニケーション活性化を図る取り組みも、社員満足度を高める施策のひとつです。

スクールで得た学びがビジネスに反映されることを期待します。



人気を呼ぶシーサイドホテル美松 大江亭の露天風呂

同世代の経営者との接点が生まれる貴重な機会に

埼玉県不動産会社を母体にしながら大分県内でホテル事業を展開する株式会社別府温泉ホテル。『ホテルシーウェーブ別府』『シーサイドホテル美松大江亭』等の既存ホテルを取得後、リニューアルにより新たな魅力を発信するビジネスモデルは、地元観光業界に活性化をもたらす一翼として迎え入れられています。

営業マネージャーの青山将之氏の前職は輸出関連会社だった関係もあり、英語や中国語が堪能なため、インバウンド客で賑わう同社の現場で貴重な存在となっています。「父親である弊社代表の青山渉は北九州出身で、別府は幼少期から家族旅行で頻りに訪れていたもので、馴染みがある町でした。未来経営者スクールでは同世代の地元経営者と新たな接点を作りたいと思い、参加しました。業界団体の会合へはよく出席するのですが、なかなか同世代の



青山 将之 氏
本店・野口支部
株式会社 別府温泉ホテル
営業マネージャー

企業DATA 株式会社 別府温泉ホテル 本社：別府市駅前本町3-5 TEL.0977-27-1311 URL <https://www.beppuonsen-hotels.com>

充実したカリキュラムに未来を拓くヒントを掴めた

別府市で和裁の仕立てと和裁士育成の学校事業を営む有限会社庚申和裁研究所。日本国内で着物文化を取り巻く環境は年々厳しくなっていますが、同社の上野美千代総務部長も、以前は家業に従事することは考えていなかったそうです。「留学先のイギリスでアートや洋裁を学ぶ機会に恵まれたことから、あらためて和裁に関心を持つようになりました。帰国後、東京の洋裁学校にも通ったのですが、創業者である祖父のものづくりに対する情熱に心を動かされ、この事業を途絶えさせてはいけないと思うようになりました」

その後、残念ながら祖父の上野晃氏は亡くなられてしまったのですが、座右の銘「一人でも多くの方に和裁という伝統技術を継承する」という信念を引き継ぎ、二代目である父親の上野雄二代表取締役と共に、和裁の発展と技術向上



上野 美千代 氏
山の手支部
有限会社 庚申和裁研究所
総務部長

企業DATA 有限会社 庚申和裁研究所 別府市大字南立石1区1-1 TEL.0977-24-1358 URL <https://koushin-wasai.com>

に邁進しています。和裁文化を啓蒙しようとホームページから情報発信を始めたところ、「少なからず反響がありました」と手応えを感じた上野部長ですが、このタイミングでスクールへの参加を呼びかけられ、受講するようになったそうです。

「スクールで多くの受講生と出会うことで、ポジティブな刺激を受けました。ひとつひとつのカリキュラムもよく考えられており、学ぶことが多かった。先輩経営者自身のナマの声を聴くことに始まり、2回目はコミュニケーション力の磨き方を徹底的にレクチャーしていただき、3回目は人材育成に関するポイントを教わり、最後は生きたマーケティング講座を論理立てて学べました。いずれも大きな感銘を受け、さっそく当社の経営に取り入れたいと練り上げているところです」

和裁への価値観が変化するなか、これをチャンスに転換するヒントを導き出すとする上野部長に、新しい時代のアントレプレナーの意気込みが伝わってきました。



大分県和裁士の皆さんと針供養で朝見神社へ